

学校跡地に関する意見交換会
【市からの説明】



RIDEON
MAKINOHARA

令和5年度 牧之原市企画政策部

学校再編計画検討の経緯

(背景)

1. 児童生徒数の減少・施設の老朽化
2. 市総合計画、市公共施設マネジメント、市教育大綱における「魅力ある教育環境」の実現

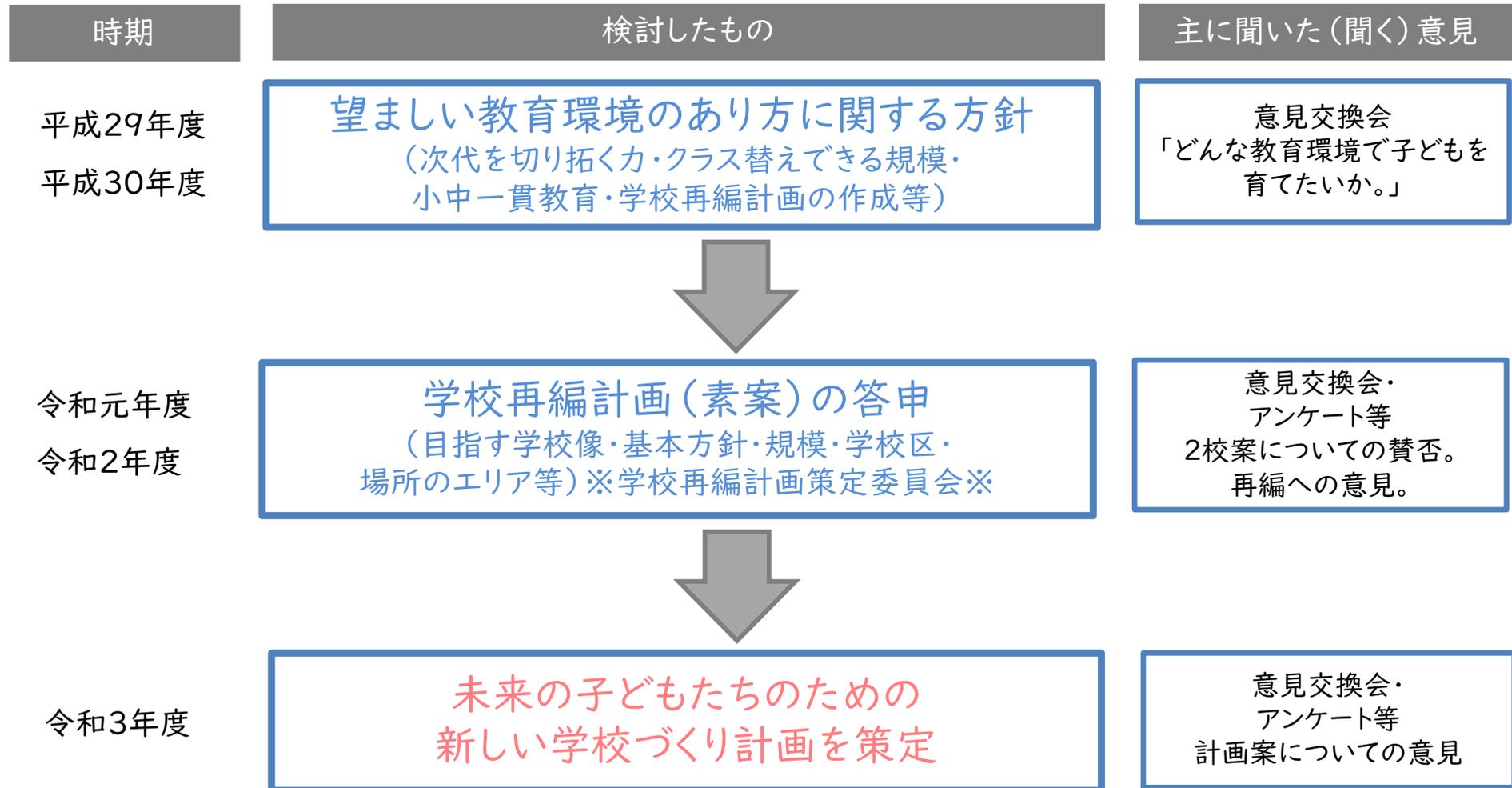
(目的)

望ましい教育環境の実現

子どもたちに、これからの社会を自分らしく生きていくために必要な「次代を切り拓く力」を育む

- キャリア教育を軸とした小中一貫教育とコミュニティ・スクールを進める
- それを支えるハードとして、新しい時代の学びに対応でき、クラス替えができる規模の小中一貫校をつくる

学校再編計画策定までの流れ



新たな学校の建設予定地

【榛原地域】

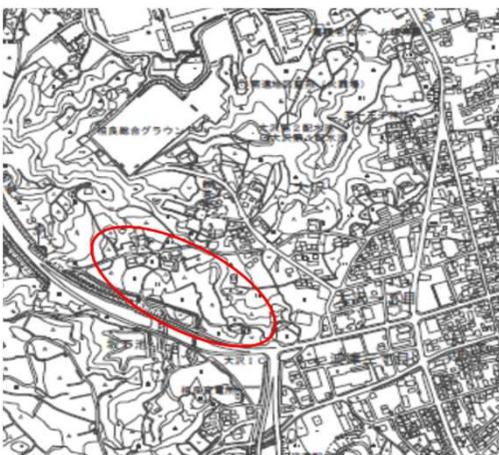
榛原中学校及び周辺 2030年開校予定



- 各区からの中央にあるためアクセスしやすい
- 教育活動がしやすい
- 十分な広さがある
- 費用を抑えることができる
- 河川浸水想定区域内だが、過去に校舎への浸水被害がない 建築計画や学校運用を工夫することで、安全・安心な施設整備が可能である
- 現在の中学校の教育活動をしながらの建設が可能

【相良地域】

大沢インター北側周辺 2033年開校予定



- 市街地の近接地で、周囲に公共施設や商店、山や畑があり幅広い教育活動がしやすい
- 候補地の中で最も平場面積が広い
- 候補地の中で最も建設費が抑えられる
- 大沢インターチェンジが近いため、アクセスがよく、利便性がよい。

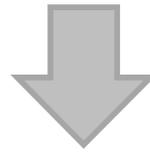
今後の主なスケジュール

今は施設の機能や配置について
検討しています。

時期	事項	内容
令和4年度 令和5年度	学校施設整備基本構想・基本計画 (学校のコンセプト・学校の場所・通学方法・ 施設の機能・配置等)	建設予定地は、「学校用地候補地選定委員会」で協議し、教育委員会が2か所を承認。市民との検討組織である「新しい学校づくり検討会」においてこの場所を基本に検討。
令和6年度	基本設計・実施設計	学校施設整備基本構想・基本計画を基に、基本設計及び実施設計に取り組む。
)	学校施設建設	敷地造成・解体工事・道路整備・ 農地転用・各種行政手続き・ 校舎等建設・外構整備 等
	令和12年度～ 令和15年度	開校

開校準備
校名・校章・
通学方法・
PTA組織等

義務教育学校の開校に伴い、
新たに活用できる場が生まれる。



その場所を、
地域や市がもっと元気に、より良くなるために、
利活用していく。

学校跡地利活用における基本的な考え方

学校跡地利活用の考え方について

- ・ 学校跡地は、
民間事業者による利活用を基本に検討する。
- ・ 民間の人材、技術、知識、資金力などを活かし、
民間の力を活用していくことで、市民サービスの向上
につなげたい。

学校跡地の所有等について

市として所有する学校跡地について

- ・ 利活用の用途として市が保有することが望ましい場合
(例えば、公園用地として利活用する場合等)
- ・ 菅山小学校の体育館：原子力防災専用シェルター整備

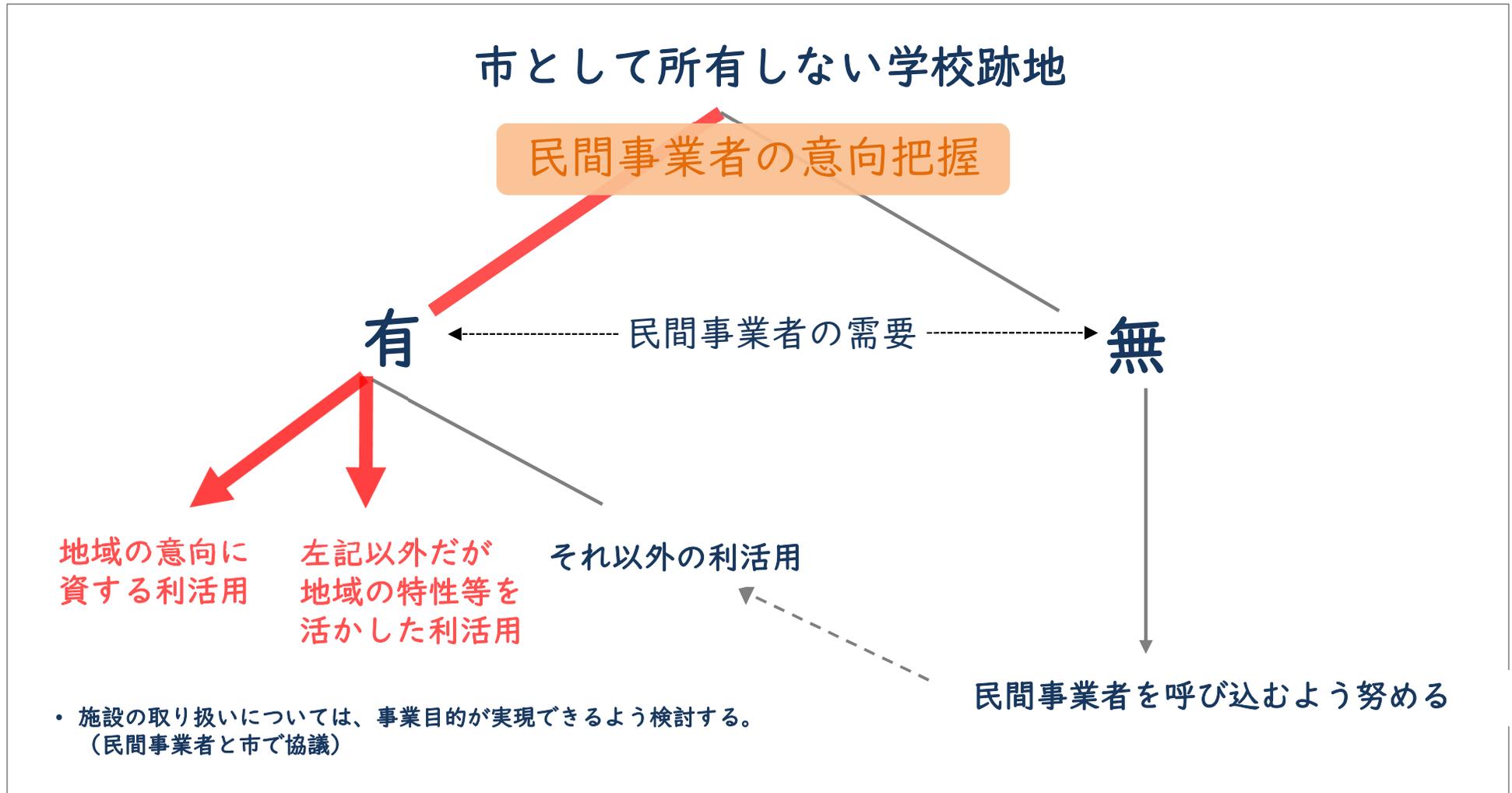
市として所有しない学校跡地について

- ・ 民間事業者への売却を前提に検討する。
- ・ 地域の意向や地域特性を活かした利活用となるよう市が積極的に取り組んでいく。
(地元意向の把握、民間事業者の意向の把握、運営手法の検討等)

市として所有するか検討が必要な施設について

- ・ 市民の健康増進等のため、体育館やグラウンド等については今後検討していく。
(市が保有するとは限らない)

市として所有しない学校跡地について



跡地の運用を考える上での避難所の考え方

指定避難所とは…

- ・ 災害時に避難生活を送る場所
- ・ 市民(地域住民)だけでなく観光客など誰でも避難できる。

現在の学校

- ・ 各学校の校舎と体育館等が指定避難所に位置付けられている。
- ・ 発災時、建物が使用できる状態となるかは分からない。
(その時点で、使用可能な施設において避難所を開設していく)
- ・ 施設がさらに老朽化すると、いずれは避難所として使用できない状態になる。

義務教育学校

- ・ 指定避難所に位置付けられる。
(体育館には冷暖房が整備される)

まずは、跡地の利活用の観点から検討するものとする。

事業者選定において、災害時の施設開放などの条件を付すことも検討する。

利活用の方向性「案」の考え方について

「新たな利活用のコンセプト」

R4年度、各地域での意見交換で出された主な意見や想い

「誰もが（子どもや若者が）過ごしやすい

安心安全に楽しく暮らせる地域（安心して帰ってこれる地域）

人を呼び込む魅力がある地域」



地域コミュニティの活性化・賑わいの創出・地域振興につながる場
【住む魅力を高める場】

- ・各学校に特徴付けを行い、バリエーションを活かした施設活用を検討する。

※民間資本を呼び込む場所については、このような利活用を促していく。

テーマ

「〇〇学校跡地を
どんな場所にしたいか
考えよう！」

